

令和7年度 経営発達支援事業評価報告書

さつま町商工会 御中

さつま町商工会経営発達支援事業評価委員会

令和7年度の経営発達支援事業の評価結果について、次のとおり報告します。

項 目	商工会 評価	委員会 評価	コ メ ン ト
地域の経済動向調査に関する こと	C	C	管内の景気動向分析については行っていないが、全国商工会連合会が年4回実施している「小規模事業者景気動向調査」のデータを基に、事業計画策定者へフードバックを行っている。
経営状況の分析に関する こと	B	B	セミナーにて経営分析を実際に講師と行う内容を設定し、事業者自身が分析に当たれるような機会を設けている。また、決算指導等を通して経営状況の分析を事業者とともにやっている。
事業計画策定支援に関する こと	A	A	補助金を活用する際や金融支援を行う際に事業計画の策定が必要となる。その機会を中心に伴走的支援を実施している。また事業計画策定やDXセミナーを通し、支援を行っている。
事業計画策定後の実施支援に 関すること	A	B	補助金や金融、展示会出展等活用における事業計画策定後は巡回指導を中心に伴走支援で動いている。事業者とともにPDCAサイクルを回し、持続的な発展を構築できるような仕組みづくりを進めたい。
需要動向調査に関する こと	C	C	当地域の特産品となる、和牛・たけのこの商品開発に関わる内容は不十分な部分を含めて対象となる飲食店との連携強化が必要。その他事業者の商品開発に関する相談は適宜対応できている。
新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	B	B	県内外の展示会や販売イベントへの出展を通して参加者事業者の新しい販路開拓支援を行っている。IT活用による需要開拓の取組にも期待したい。
地域経済活性化に資する 取組	B	B	地域ブランド「薩摩のさつま」を通じた各組織の連携は継続して行っている印象である。町内の各イベントや出展支援の際にてPR等行っているため、更なる町外、県外での広報に期待したい。
事業の円滑な実施に向けた支 援力向上のための取組	A	A	本団体、他団体の講習会や会議等へ積極的に参加し、自己研鑽や連携強化、情報共有を行っている。特に税制改正等が進む昨今で、該当講習会への参加や日本政策金融公庫による勉強会での意見交換を行い、円滑な支援を行えるような取組は評価できる。

全体報告（総合評価）	B	B	全体を通し、概ね評価できる項目が多いが、目標とする「新規創業者育成支援によるにぎわいの創出」という観点で更なる取組が必要と感じる。強みである各団体との連携を強化し、地域の活性化に繋がるような支援に期待したい。現況を勘案し、総合的にB評価が妥当と判断する。
------------	---	---	---

- ※評価の目安
- A：目標を達成することができた。（100%）
 - B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
 - C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
 - D：目標をほとんど達成することができなかった。（30%未満）